

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|----------|----------------------|
| 幼稚園・学校番号 | 2772418 |
| 施設名(園名等) | 学校法人八王子キリスト学園 八王子幼稚園 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

表現遊び

<テーマの設定理由>

普段から自由遊びの中で、遊戯室の舞台にソファや椅子、ひな壇を使って仕切りを作り、おうちごっこや基地ごっこを楽しむ姿があった。10月に実施した「みんなのステージ」という行事で、年長児が合奏をしたり、年中児が歌う姿を見て、それ以降の自由遊びでは舞台で年少が真似をして楽器を鳴らしたり、舞台幕を自分たちで扱う姿が見られた。舞台ならではの表現する姿が見られたのでテーマとして設定した。

2. 活動スケジュール

2025年11月～ 舞台での表現あそび
・幕の開閉を自分たちで楽しむ
・打楽器楽器あそび
保育室で楽器遊び(曲に合わせてリズムを感じる)
12月 ミュージックパッドで遊ぶ
・音階で並べたり、音当てクイズをしたり
1月 保育室で楽器遊び(音を止める面白さ)
2月 舞台での表現遊び
(大きくなった会を経て、合奏のイメージで楽器を鳴らす)

3. 探究活動の実践<活動の内容>・活動のために準備した素材や道具、環境の設定・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

・舞台幕を自由に扱えるようにして、幕の開閉を楽しむ姿があった。幕が開くと「起きろ～」と朝のイメージを持ち、閉めると「夜だ！お化けが来る」など、開閉によって場面の切り替えを感じながら子どもたち同士で声を掛け合って同じイメージを共有して楽しんでいた。

・打楽器セットを1階保育室、2階遊戯室にそれぞれに設置し、自由に扱えるようにした。年少児はクラスであつまりの時などにピアノの音楽に合わせて思い思いの楽器を手にして、音楽に合わせて鳴らす姿があった。曲調に合わせて楽器を変えて「きらきら星の音～」と喜びながら楽器遊びを楽しんだ。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・打楽器は年少児でも扱いやすく、日々自由に使える環境だと自由遊びの時にも探検のアイテムの一つのような形で使う姿があった。楽器の鳴らし方についてはあまり説明はしなかったが、子どもたちなりにそれぞれの楽器の響きの違いを感じ、曲調に合わせて楽器を使い分けたり、良い響かせ方を探っている様子もあった。子どもが自分の感性で音を感じて表現していくことの大切さを感じた。
- ・舞台幕も自分たちで扱えることの特別感や嬉しさがああり、幕というアイテム一つで「朝」「夜」「始まり」など場面がわかりやすくなり、子どもたち同士でイメージを共有しやすくなった。